みらいつうしん

6月号

２０２０年６月１日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長　勝浦　芳子

新しい出会いと園生活

あじさいの花が美しく咲く季節になりました。この時期は、花屋の店先で青い花をよく見かけます。青い花は、「希望」「夢が叶う」「信じる愛」「幸福」などといった花言葉があるため、昔からよく好まれています。その中でも青いあじさいは、「辛抱」「忍耐強い愛情」などがあり、いかにもこれからの社会生活を希望に導くメッセージを伝えてくれています。

皆様の努力のお陰で 2 か月余り続いた新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が解除になり、いよいよ新しい生活に向けて歩み始めます。みらいこども園においても、やっと１号認定のお子さまも段階的ではありますがお預かりできる運びとなりました。待ちに待った園生活の開始は、お子さまをはじめ、保護者の方々、私たち職員にも大変喜ばしいことです。きっとこの時期に解除されたのも、皆様の願いが通じたのだと感じております。しかしながら、従来の生活に戻るには、まだまだ時間がかかり、職員一同もさらに気を引き締め、園児の命を第一に考えて、アフターコロナの保育形態を確立するために努力していきたいと考えております。どうぞ引き続きご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

さて、園生活が始まると、新しいお友達や保育者に出会い、楽しさや期待感が生まれます。その反面、戸惑いや不安も生まれ、時には、気持ちのコントロールがうまくいかないこともあります。大人でも、初めての環境に慣れるまでには時間がかかり、いろいろな葛藤があるように、お子さまも自分の気持ちを一生懸命私たち大人に伝えようとしています。お子さまは、ありのままの自分を受け止めてくれることで安心感を持ち、心を開き次へのステップへ進むことが出来ます。今回の外出自粛生活の為、ご家庭で過ごす時間が長かった分、集団生活に慣れるまで時間がかかると思いますので、より一層一人一人に心を寄せ、保育を進めて参ります。また、お子さまの命を守るための衛生面、食事の仕方、密接、密集を避ける工夫も念入りに考えて安心できる保育環境を作って参ります。どうぞ、ご家庭でも体調管理をお願いいたします。

先日、開園 10 周年を記念して、田園調布学園大学・なでしこ同窓会より「シマトネリコ」を園庭に植樹していただきました。「シマトネリコ」は、最近とても人気のある木で、つやのある明るい葉と繊細な枝ぶりで、涼しげな雰囲気を作り出し、病害虫も少なく強健であり、１０ｍを越す大きな木に成長するそうです。また、カブトムシが樹液を吸いにやってくることでも有名です。園児たちも新しい未来に向かって、この「シマトネリコ」の木のように明るく、力強く育って欲しいと願います。それと同時に築山も新しく生まれ変わりました。子ども達が、新しい環境でよく遊び、より豊かな感性が育つことで主体的に深い学びが出来ることを期待しています。これからも、職員一丸となってお子さま一人一人を大切に思い、好奇心や意欲がもてる保育を目指していきたいと思います。

記念樹「シマトネリコ」

一列になってランチルームでの給食